

第38回らくのうマザーズ枝肉共励会

令和4年10月21日（金）に菊池市七城町の株熊本畜産流通センターに於いて、第38回らくのうマザーズ枝肉共励会が開催されました。新型コロナウイルス感染拡大のため3年ぶりの開催となりました。今回出品された枝肉は、1部乳用種の部35頭、2部交雑種の部8頭、3部黒毛和種の部7頭の合計50頭が出品され、審査の結果、グランドチャンピオン賞には新永文治さん（熊本酪農協）の黒毛和種（ET）・雌（福之姫－安福久－平茂勝）生体重850kg、枝肉重量570.4kg、BMS No.12、BCS No.4、ロース芯面積85cm²、ばらの厚さ8.9cm（等級A-5）が選ばれ、5度目のグランドチャンピオン受賞となり、過去最多受賞となりました。リザーブチャンピオン賞には2部の赤星護さん（熊本乳牛農協）の交雑種・去

勢（百合光）生体重852kg、枝肉重量529.6kg、BMS No.7、BCS No.3、ロース芯面積59cm²、ばらの厚さ7.3cm（等級B-4）が初受賞に選ばれました。

当日は快晴に恵まれ、セリ会場、枝肉展示がおこなわれている冷蔵庫内では多くの購買者、生産者、見学者の姿が見られました。

新永さんより厳しい状況下でも消費者のニーズに答えたより良い牛を生産して行くと挨拶があり、セリが開始されました。セリの最後にグランドチャンピオンの枝肉がセリにかけられ、落札後、会場内から盛大な拍手で閉幕しました。

なお、グランドチャンピオン賞は3,830円/kg、リザーブチャンピオン賞は2,020円/kgで落札されました。



グランドチャンピオン枝肉



グランドチャンピオン枝肉断面



表彰式

枝肉共励会入賞者一覧 (順不同)

| 出品番号 | 出品組合名 | 出品者 | 褒賞 |
|------|----------------|-------------------|----|
| 1 部 | | | |
| 10 | ホワイト酪農協 | 東 吉次郎 | 銀 |
| 22 | 菊池地域農協 (旭志) | (有)水上牧場 | 銀 |
| 26 | 菊池地域農協 (泗水) | (有)無限ディ リーファーム | 銀 |
| 34 | 球磨酪農協 | (株)荒木牧場 | 金 |
| 2 部 | | | |
| 37 | 火の国酪農協 | 蓮尾 亮介 | 金 |
| 38 | 熊本乳牛農協 | 赤星 護 | RC |
| 39 | 火の国酪農協 | (有)生山牧場 | 銀 |
| 40 | 熊本酪農協 | 島田 輝昭 | 金 |
| 41 | 菊池地域農協 (大津) | (有)相馬牧場 | 銀 |
| 3 部 | | | |
| 45 | 本渡五和農協 | 松本 浩一 | 銀 |
| 47 | 熊本酪農協 | 新永 文治 | GC |
| 48 | 熊本酪農協 | 益崎 洋光 | 金 |
| 49 | 熊本市農協 | 中村 栄作 | 銀 |
| 50 | 菊池地域農協 (泗水) | 金子 紀之 | 金 |



リザーブチャンピオン枝肉断面



セリの様子

枝肉共励会出品データ (平均値)

| | 生後月齢 (ヶ月) | 生体重 (kg) | 枝肉歩留 (%) | 枝肉重量 (kg) | ロース芯 (cm²) | ばら厚さ (cm) | 皮下厚さ (cm) | B M S No. | B C S No. | B F S No. | 単価 (円) |
|---------|-----------|----------|----------|-----------|------------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|--------|
| 1部経産牛平均 | 59.7 | 813.4 | 53.3 | 434.8 | 39.0 | 4.8 | 1.8 | 2.1 | 5.0 | 3.5 | 968 |
| 1部若齢牛平均 | 23.7 | 741.0 | 58.3 | 432.3 | 42.7 | 5.0 | 2.2 | 2.7 | 4.0 | 2.3 | 1,203 |
| 1部全体平均 | 56.6 | 807.2 | 53.8 | 434.6 | 39.3 | 4.8 | 1.8 | 2.1 | 4.9 | 3.4 | 988 |
| 2部平均 | 25.1 | 876.8 | 63.0 | 552.3 | 55.8 | 7.2 | 2.9 | 4.1 | 3.5 | 3.0 | 1,644 |
| 3部平均 | 30.0 | 840.0 | 65.8 | 553.8 | 68.6 | 7.9 | 2.9 | 9.3 | 3.6 | 2.7 | 2,709 |
| 全体平均 | 47.9 | 823.0 | 56.9 | 470.1 | 46.0 | 5.6 | 2.1 | 3.5 | 4.5 | 3.2 | 1,334 |

冬場の仔牛対策

生産本部指導部 営農指導課 久田眞規子

気温がすっかり下がり、秋から冬の気配に移ろうとしています。

今年の冬（2022年12月～2023年2月）、日本付近は、西日本、東日本を中心に冬型の気圧配置が強く、寒気の影響を受けやすい予報が出ました。去年に引き続き、今年も仔牛の寒冷対策が必須となります。冬季に仔牛を元気よく発育させるために、以下のポイントに注目し、是非読んでいただきたいと思います。

①保温

仔牛の寒さ対策というと、専用のジャケットを着せることを先行される方も多いと思いますが、私からは是非「おなかの下」の保温対策もしていただきたいと思います。おなかが冷える、例えば1℃低下すると、仔牛の免疫は8%ほど低下すると言われます。これは仔牛の免疫の中心が小腸のGALT（腸管免疫機構）にあるからです。床がしっかりと乾燥していてふかふかの敷料の上にいる仔牛は、病気に強いものです。逆に床がぐちゃぐちゃな環境で仔牛を飼育しておいて、下痢だ肺炎だと高価な抗生物質などを使用しても、高熱が下がらないなどほとんど効果はないでしょう。また、地面からの冷気を遮断することも冬は必要になります。冷気の遮断には牛床マットや市販のバスマット、断熱材などの活用が有効で、敷料の節約にもつながります。敷料のみで断熱を考えるなら、15～20cmほどの厚さが理想と言えます。



②免疫を強くする

免疫を強くするには、やはりワクチンの接種が

有効です。しかし、それ以前におなかを冷やさないことやストレスを与えないこと、体力を維持することが大切です。また、仔牛にワクチンを接種する際、ビタミンE剤を同時に投与すると効果が高まるという研究結果もあります。

母体に摂取するワクチンや、鼻腔に投与するワクチンなど、ワクチンにも様々な種類があります。ご自身の牧場に必要な対策を獣医師と相談して検討してみてはいかがでしょうか。

③体力を維持する

気温が下がると体温維持のためにカロリーがたくさん必要になります。哺乳量を少し増やすことや、スターターの給与（同時に水の給与も必須）など、カロリーを増やす工夫をしてみてください。

注意していただきたいのはミルクの濃度を規定より濃くすることは避けてください。体内的電解質異常を起こし、脱水して下痢などを起こします。

④哺乳器具、機材を清掃する

そもそもきれいなミルクを仔牛に与えていなければ、仔牛は下痢をしたり、場合によっては敗血症で死んでしまったりするのは当然のことです。仔牛の免疫の中心は小腸にあるGALT（腸管免疫機構）と言われていますので、腸炎が起きていると免疫がきちんと働かず、肺炎などの疾病的リスクも高まります。

哺乳瓶や哺乳ロボットのチューブが黒ずんでいたりぬめりがあれば、おなかを壊すことになるのは誰でも解ると思います。

楽をするためではなく、仔牛を均一により良くするための機器や道具であると意識していただき、日ごろのメンテナンスや洗浄をしっかりと行いましょう。

いかがでしょうか。「そんな余裕はない」と思われる方も多いと思いますが、これらのポイントから対策を行うことは仔牛へのかけなくともいい労力を減らし、発育など効果も高いと考えます。今できることを一緒に考えていくべきです。

なにか困っていることなどありましたらご相談ください。（営農指導課 096-388-3510）

COLUMN —コラム—

「乳業本部 頑張ってます！」

いつも大変お世話になっております。本年7月の人事異動で乳業本部長兼品質保証部長を拝命致しました櫛本です。日頃よりL.Lキャンペーン等、乳業事業に多大なるご支援をいただきまして、この場をお借りして厚くお礼申し上げます。

また、昨年から続く需給緩和状況に加えまして、ロシア・ウクライナ情勢悪化や円安等による、輸入飼料およびエネルギー・生産資材価格の高騰等、酪農経営はかつて無いような危機に直面しご苦労されていることと存じます。そのような皆様の負託に応えるべく乳業本部も頑張っています。11月より乳価の期中改定が決定し、営業部では9月より全ての取引先に値上げ交渉を行っております。しかしながら「MOTHER'S11月号」が皆様の手に渡る頃、まだ小売価格が目に見えるように値上げされてないかもしれません。これは値上げによる消費量減少が懸念されることから、本会を含め各取引先で熟考した中での価格設定だと想像します。乳価は上がっても消費量が減少すれば、需給緩和が加速し加工向けが増加した場合、逆にプール乳価が下がるといった影響を及ぼすかもしれません。これでは本末転倒です。店頭価格が一段上がるまでには多少時間はかかるかもしれませんが確実に値上げは進行しておりますので、ご理解の程よろしくお願ひします。

話は変わりますが、製造業務についても少し触れたいと思います。本会の熊本・菊池両工場で製造している成分無調整牛乳の割合は、全製造量の約75%を占めています。また、処理乳量で言えば約87%を占めており、殆どの生乳を飲用向けで処理しています。皆様の乳価を少しでも上げるべくまた、優しく大切に育てられた乳牛から搾った生乳を、あまり手を加えることなく、殺菌するだけの美味しい牛乳として消費者に届けたいと思い頑張っています。

より多くの皆様に飲用していただける安全・安心な美味しい牛乳を製造するためには、生乳の受

け入れ段階からの厳しい検査が大変重要となります。酪農家の皆様には大変なご苦労をおかけしますが、飼養管理はもちろんのこと、搾乳機器・バルククーラー・ポンプ・ホース等定期的な点検、毎日の清掃をお願いしたいと思っており、これをしっかりと行うことでバルク廃棄や受入検査でのローリー廃棄を確実に減少させることができます。皆様の中には工場での検査が少し厳しすぎるのではないかと感じておられる方もいらっしゃると思いますが、受け入れ後の殺菌・充填工程をスムーズに進行させ、安全・安心な牛乳を製造するため非常に重要な要素となります。この点につきましてもご理解の程よろしくお願ひします。また現在乳業本部では、この安全・安心に製造された牛乳を安全・安心な状態で保管するために熊本工場の冷蔵庫増設を計画しております。営業マンの地道な頑張りにより年々製造量が増加しており保管スペース不足となっております。今後の人員不足を踏まえたパレットへの積み付け自動化と、製品の追跡調査システム導入等を含めると大変高額な投資となります。乳業本部一丸となって、冷蔵庫増強を利用した売り上げ増加と製造の効率化を図っていきたいと考えております。

最後になりますが、今後も私たち乳業本部の営業部ではさらなる売り上げ拡大を目指し、両工場では製造ロスの低減や製造効率化による経費削減に頑張っていきます。これまででも皆様の経営安定化に少しでもお役に立てればと思い頑張ってきましたが、これからも酪農経営向上に少しでも貢献できるよう頑張ってまいります。繰り返しになりますが、酪農家の皆様にとって未曾有の状況で大変不安だと思います。幸せな未来を想像し、そして目指し共に頑張っていきましょう。



らくのうマザーズ乳業本部長
櫛本 清和

下痢の時の内服薬について

生産本部指導部技術課 梶山 清久

先月のMOTHER'Sで大里職員が子牛のクリプトスボリジウム症について書いていましたが、今月も引き続き下痢について書いてみたいと思います。それだけこの時期は子牛の下痢が多く、重要なことが分かってもらえると思います。

皆さん子牛が下痢した場合どうされるでしょうか。もちろん下痢止めの薬を飲ませると思います。下痢止めとして売られている商品は10種類以上あり、その中身も少しずつ違いますが、主な成分としては以下に記したものが入っています。

①制酸剤

胃酸を中和し胃の粘膜を保護します。

②吸着剤

腸管内で異常発酵などにより生じた有害な物質を吸着させます。

③収斂剤

粘膜表面でタンパク質と結合し沈殿を形成し、不溶性の被膜を作り、腸粘膜を保護ならびに抗炎症作用を示します。

④殺菌剤

腸内細菌に対する殺菌作用により下痢を止めます。

これらの内服薬をミルクに混ぜて飲ませることができると簡単なのですが、食欲がなくミルクを全部飲みきれない場合、内服薬の効果が低下してしまいます。そのためミルクや電解質とは別に与えた方が確実です。



としては、内服薬を水で溶かしてその名の通り団子状にして口の中に入れます。上手くいかないと吐き出してしまうなどコツをつかむまで時間がかかります。上手く食べさせるコツは「ややゆるめに作って上あごに塗るようにすると良い」とのことです。自分も時々作るのですが、意外と水分量の調整が難しく感じます。

そのため他のやり方がないか調べてみたところ「カテーテル用シリンジ」を用いるやり方が簡単です。先端が普通の注射器に比べて太いことがこのシリンジの特徴です。そのため先端で内容物が詰まることがほとんどないため、ゲル状に溶かし口から投与することで簡単に飲ませることができます。団子にするやり方が苦手な方でもできると思います。



ますます子牛の価格が下がっていますが、それでも子牛が貴重な収入源であることには変わりありません。もちろん下痢をさせないことが大事ですし、そのためには良質な初乳をなるべく早く飲ませる、寒さ対策を行う等基本的なことが重要であることは言うまでもありません。しかし、きちんと飼育していても下痢がなくなることはないと思っています。そのため早期発見・早期治療を行うことが大事ですし、そうすることで少しでも大きく丈夫な子牛を育てていただきたいと思います。

そこでお勧めのやり方が「団子」にして与えることです。以前からあるやり方なので、すでにやっているという方もいるとは思います。やり方